

# 第 8 章

電気・ガス・上下水道

## 第 8 章 電気・ガス・上下水道

### 電気

平成 23 年度における電灯需要の契約口数をみると、513 万 6728 口にのぼり、前年度の 511 万 9022 口に比べ 0.3%(1 万 7706 口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が 443 万 4420 口(前年度比 0.6%増)となっている。また、使用電力量は 2048 万 7469MWh で、前年度に比べ 4.9%の減少となり、1 口当たりの年間使用量は 3988kWh(前年度比 5.2%減)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 40 万 6976 口で、前年度に比べ 1.7%の減少となった。使用電力量は 24 億 2656 万 kWh となっている。

### ガス

平成 23 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 60 億 6011 万 m<sup>3</sup>で、前年度の 59 億 7133 万 m<sup>3</sup>に比べ 1.5%の増加となった。

また、消費量は 39 億 4164 万 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 1.8%の増加となった。これを内訳でみると、工業用が 18 億 4278 万 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 5.8%の増加となり、商業用が 5 億 3738 万 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 3.3%の減少、公用が 1 億 5739 万 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 5.5%の減少、医療用が 1 億 7351 万 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 1.9%の減少となり、家庭用が 12 億 3058 万 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 0.2%の減少となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 398 万 3584 戸で、前年度に比べ 0.5%の増加となっている。

### 上下水道

#### 上水道

平成 23 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 11 億 6594 万 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 1.0%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 4290 万 m<sup>3</sup>で、全体の 38.0%を占めている。

栓数は 336 万 165 件で、前年度に比べ 2.1%の増加となっている。

また、1 人 1 日平均給水量は 323 で、前年度に比べ 1.5%の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 446 で、以下、泉佐野市の 401、岬町の 381 の順となっている。

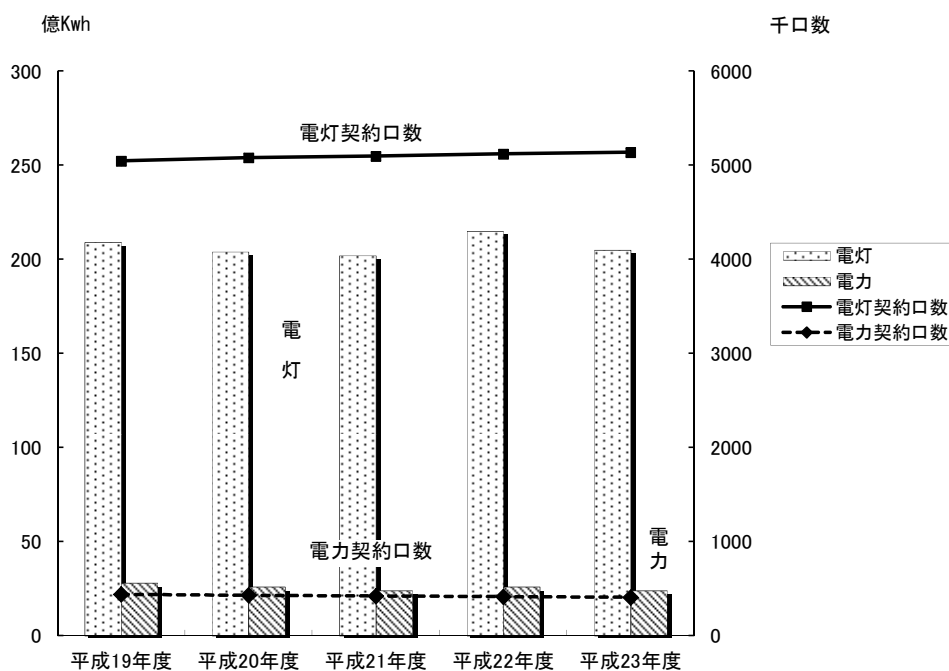
平成 22 年における工業用水の使用状況をみると、1 日当たりの総使用量は、前年比 4.2%増の 587 万 288 m<sup>3</sup>となっている。

このうち、淡水の使用量は 507 万 9074m<sup>3</sup>で、前年に比べ 8.8%の増加となっており、全体の 86.5%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の 88.9%を占めており、その内訳は、石油・石炭が 38.4%、鉄鋼が 23.2%、化学が 21.9%と、この 3 業種で回収水全体の 87.7%を占めている。

#### 下水道

府内における平成 23 年度末の下水道の普及率をみると、整備人口が 94.6%で、前年度より 0.3 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 100%で、全域に普及している。

### 使用電力量・契約口数の推移



### 地域別都市ガス消費量の構成比 (平成23年度)

